

タイ電話網拡充事業(1)(2)



本事業により建設された伝送タワー（アユタヤ）

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	31,012百万円 / 30,811百万円
借 款 契 約 調 印	1987年9月 / 1988年2月
借 款 契 約 条 件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1989年8月 / 1994年2月

[事 業 概 要]

首都バンコクの市内局間伝送路、全国の市外伝送路及び加入者ケーブルを拡充することにより、電話需要の増加に対処するもの。

[評 価 結 果]

本事業は、経済成長に伴う電話需要の急増に対処するため、タイ電話公社の第6次開発計画（1984-91）の一環として着手されたものであり、1986年から1993年にかけて、バンコク市内局間伝送路に光ファイバー（537km）を導入した他、地方都市間を結ぶ市外伝送路、加入者ケーブルの拡充等が行われた。

事業は1994年に完成したが、この間、加入者数は1987年125万、91年187万、94年258万と年平均9.5%増加し、電話密度（人口100人当り電話数）は1987年の2.32台から94年には5.97台と約2.6倍に増加した。

一方、首都圏の積滞回線数は1987年の約26万から1993年の約128万へと毎年増加していたが、94年に初めて減少に転じ、2000年にかけて約8千を下回るところまで激減している。本事業はこのようなタイの電話事情の改善に大きく貢献したものと評価される。

なお、タイ電話公社は、1992年以降の通信事業への民間参入の影響等から、近年収益の低下傾向が見られるが、技術水準は高く、設備の維持管理は良好に行われている。